

# 平成29年度宇治市の家計簿

前年度からの

具体的には…

## 収入

給与などの収入	503 万円 (+14 万円)	市税、譲与税、交付金、使用料など
親からの仕送り	71 万円 (+5 万円)	地方交付税
ローン(家・車の購入のため)	28 万円 (+4 万円)	道路・河川の整備、学校改修などの資金
ローン(生活資金のため)	23 万円 (-1 万円)	臨時財政対策債
預貯金の引き出し	9 万円 (+1 万円)	基金繰入金
繰越金	4 万円 (±0 万円)	繰越金



収入合計 638 万円 (+23 万円)

## 平成29年度の家計は…

昨年度と比べて、給与などの収入は増えましたが、生活費や家や車の購入にかかる経費なども増えたことから、家・車の購入のためのローンの借り入れを増やしたり、預貯金を引き出すことで、不足分を補うこととしました。

今後も生活費は増えることが見込まれているほか、家や車についても老朽化が進んでおり、修繕や改修などに伴う支出も増える見込みです。

このように、厳しい状況が続くことから、生活費の抑制はもちろんのこと、その他の支出についても無駄がないか徹底的に見直し、ローンの借り入れに無理がないのか、預貯金の残高に気を配りながら、家計の安定に向けてより一層の努力や工夫が必要です。

なお、ローン残高は、借入額より返済額が多くなったことから減少となり、将来にわたる負担は軽減が見込まれるものの、預貯金の引き出しを行ったため、預貯金残高は、前年度より減少となりました。今後は将来の支出に備えて預貯金の積み立てを行っていく必要があります。

普通会計の歳入・歳出決算額を1/10,000にして、  
一般家庭に例えると・・・

前年度からの

具体的には・・・

支出

生活費など	263 万円 (+8 万円)	人件費、扶助費、維持補修費など
子どもの教育費など	153 万円 (+3 万円)	教育費、民生費のうち児童福祉費
保険料・下水道費用	74 万円 (+1 万円)	国保特会、公共下水道事業などへの繰出金
家や車の購入	58 万円 (+8 万円)	道路・河川の整備、学校改修費用など
貸付金など	24 万円 (±0 万円)	貸し付け事業の費用 (年度末には返金)
預貯金の積み立て	3 万円 (+1 万円)	基金への積立金
ローンの返済	58 万円 (+1 万円)	公債費
<b>支出合計</b>	<b>633 万円 (+22 万円)</b>	
差し引き	5 万円 (+1 万円)	
<b>ローン残高</b>	<b>442 万円 (-3 万円)</b>	<b>年度末の市債残高</b>
<b>預貯金残高</b>	<b>83 万円 (-6 万円)</b>	<b>年度末の基金残高</b>



(市民一人あたりローン及び預貯金残高の推移) (単位：円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ローン残高	235,781	234,755	234,429
預貯金残高	49,486	46,851	44,151

